

(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局

(43) 国際公開日
2017年12月7日(07.12.2017)



(10) 国際公開番号

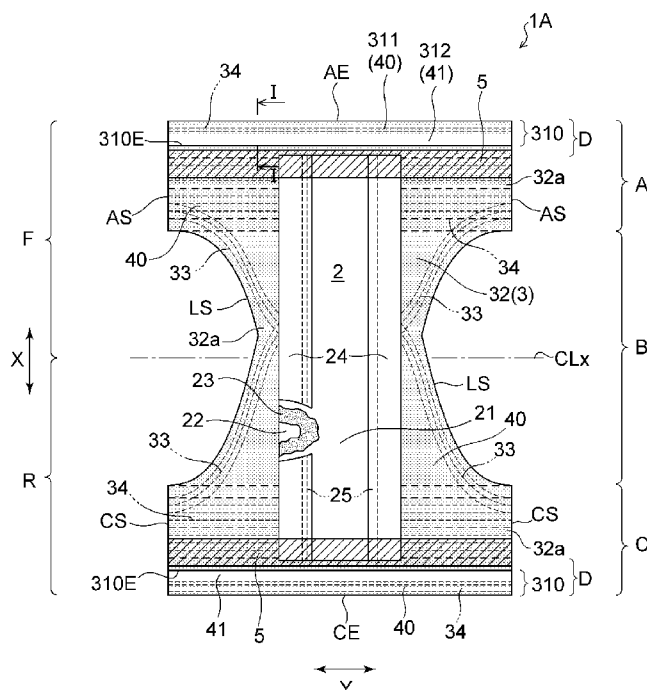
WO 2017/209276 A1

- (51) 国際特許分類:
A61F 13/511 (2006.01) A61F 13/49 (2006.01)
- (21) 国際出願番号: PCT/JP2017/020586
- (22) 国際出願日: 2017年6月2日(02.06.2017)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (30) 優先権データ:
特願 2016-111587 2016年6月3日(03.06.2016) JP
- (71) 出願人: 花王株式会社(KAO CORPORATION)
[JP/JP]; 〒1038210 東京都中央区日本橋茅場町一丁目14番10号 Tokyo (JP).
- (72) 発明者: 宮村 猛史 (MIYAMURA, Takeshi); 〒3213497 栃木県芳賀郡市貝町赤羽2606 花王株式会社研究所内 Tochigi (JP). 山下 好美 (YAMASHITA, Yoshimi); 〒3213497 栃木県芳賀郡市貝町赤羽2606 花王株式会社研究所内 Tochigi (JP). 鈴木 陽一 (SUZUKI, Youichi); 〒3213497 栃木県芳賀郡市貝町赤羽2606 花王株式会社研究所内 Tochigi (JP).
- (74) 代理人: 特許業務法人翔和国際特許事務所 (SHOWA INTERNATIONAL PATENT FIRM); 〒1070052 東京都港区赤坂二丁目5番7号 N I K K E N 赤坂ビル7階 Tokyo (JP).
- (81) 指定国(表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ,

(54) Title: ABSORBENT ARTICLE

(54) 発明の名称: 吸収性物品

【図2】



(57) **Abstract:** In a ventral side portion (A) or a dorsal side portion (C), a skin-closest-sheet (310) that is located closest to the skin of a wearer is disposed such that a skin facing surface of an exterior body (3) being the main portion that forms an outer shape of the ventral side portion (A) or the dorsal side portion (C) extends in a lateral direction (Y). A skin non-facing surface (310b) of the skin-closest-sheet (310) has a connecting portion (311) to a surface (32a) that faces the skin non-facing surface (310b) and a non-connecting portion (312), and has a colored portion (40) that has a different



BA, BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DJ, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IR, IS, KE, KG, KH, KN, KP, KR, KW, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SA, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, ZA, ZM, ZW.

- (84) 指定国(表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SD, SL, ST, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, KM, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

添付公開書類:

- 一 国際調査報告(条約第21条(3))

color to a base color of the skin-closest-sheet (310) and a non-colored portion (41). The non-connecting portion (312) is located in an edge region that includes an edge (310E) of the skin-closest-sheet (310) in a longitudinal direction (X), and includes the non-colored portion (41).

(57) 要約: 腹側部(A)又は背側部(C)において、着用者の肌の最も近くに位置する肌最近接シート(310)が、腹側部(A)又は背側部(C)の外形を形成する主体部である外装体(3)の肌対向面を横方向(Y)に延びるように配されている。肌最近接シート(310)の非肌対向面(310b)が、該非肌対向面(310b)と対向する面(32a)との接合部(311)及び非接合部(312)を有すると共に、該肌最近接シート(310)の地色と異なる着色部(40)及び非着色部(41)を有する。非接合部(312)が、肌最近接シート(310)における縦方向(X)の端縁(310E)を含む端部域に位置しており、且つ非着色部(41)を含んでいる。

明 細 書

発明の名称：吸収性物品

技術分野

[0001] 本発明は、着色が施された吸収性物品に関する。

背景技術

[0002] 吸収性物品の１種である使い捨ておむつとして、吸収性本体と、該吸収性本体よりも着用者の身体から遠い側に配された外装体とを備えたパンツ型使い捨ておむつが知られている。特許文献１には、斯かる構成のパンツ型使い捨ておむつにおいて、外装体が、着用状態においておむつの外面を形成する外層シートと、該外層シートの肌対向面に対向配置された内層シートとからなり、且つ該外層シートが、該内層シートよりも着用者の前後方向即ち縦方向の長さが大きく、該外層シートにおける該内層シートの縦方向端縁からの延出部が、該内層シートの肌対向面に向けて折り返されて該肌対向面に固定されているものが記載されている。このような外層シートの折り返し部は、この種のパンツ型使い捨ておむつの典型的な構成の１つであり、該折り返し部は通常、該折り返し部と対向する面に接合されている。

[0003] また一般に、使い捨ておむつなどの吸収性物品は全体が白色である。これに対し、特許文献１記載のパンツ型使い捨ておむつは、意匠性を向上させて下着らしい外観にするために、外装体を構成する外層シート及び内層シートのうち、着用者の肌から相対的に近い内層シートの全体を有彩色に着色することが記載されている。

先行技術文献

特許文献

[0004] 特許文献１：特許第５６９５７８９号公報

発明の概要

[0005] 本発明は、着用者の前後方向に対応する縦方向及びこれに直交する横方向を有すると共に、股下部並びに該股下部の前後から縦方向に延出する腹側部

及び背側部を有し、該腹側部から該背側部にわたる吸収体を具備する吸収性物品である。前記腹側部又は前記背側部において、着用者の肌の最も近くに位置する肌最近接シートが、該腹側部又は該背側部の外形を形成する主体部の肌対向面を横方向に延びるように配されている。前記肌最近接シートの非肌対向面が、該非肌対向面と対向する面との接合部及び非接合部を有すると共に、該肌最近接シートの地色と異なる着色部及び非着色部を有している。前記非接合部が、前記肌最近接シートにおける縦方向の端縁を含む端部域に位置しており、且つ前記非着色部を含んでいる。

図面の簡単な説明

[0006] [図1]図1は、本発明の吸収性物品の一実施形態であるパンツ型使い捨ておむつの一例を模式的に示す斜視図である。

[図2]図2は、図1に示すおむつの展開且つ伸長状態における肌対向面側を一部破断して模式的に示す展開平面図である。

[図3]図3は、図1に示すおむつを模式的に示す分解斜視図である。

[図4]図4は、図2のⅠ－Ⅰ線断面、即ちおむつの腹側部側のウエスト端縁及びその近傍を模式的に示す縦断面図である。

[図5]図5は、本発明の吸収性物品の他の実施形態の図4相当図である。

[図6]図6は、本発明の吸収性物品のさらに他の実施形態の図4相当図である。

[図7]図7は、本発明の吸収性物品のさらに他の実施形態である展開型使い捨ておむつの一例であり、該おむつの展開且つ伸長状態における肌対向面側を模式的に示す展開平面図である。

[図8]図8は、図7のⅠⅠ－ⅠⅠ線断面を模式的に示す横断面図である。

発明の詳細な説明

[0007] 着用者のウエスト部及びその近傍に配されるウエスト域の肌対向面は、着用者の腹や背中と常時接触し、また手指で触れる機会も多いことから、その風合いは良好であることが好ましく、改善の余地がある。また、使い捨ておむつなどの吸収性物品は、正しい着用位置で着用されて初めてその真価を発

揮し得るが、着用時の位置決めが簡単ではないことなどもあって、必ずしも正しい着用位置で着用されていないのが現状である。

[0008] 従って本発明の課題は、着色が施されていて意匠性が高く、肌対向面の風合いが良好で、着用時の位置決めが簡単な吸収性物品を提供することに関する。

[0009] 以下本発明を、その好ましい実施形態に基づき図面を参照しながら説明する。図1～図4には、本発明の吸収性物品の一実施形態であるパンツ型使い捨ておむつの一例であるおむつ1Aが示されている。おむつ1Aは、着用者の前後方向に相当する縦方向Xとこれに直交する横方向Yとを有すると共に、股下部B並びに該股下部Bの前後から縦方向Xに延出する腹側部A及び背側部Cを有し、腹側部Aから背側部Cにわたって縦方向Xに延在し、排泄された体液を吸収保持可能な吸収体23を具備する。股下部Bは、おむつ1Aの着用状態において着用者の股間部に配される部位であり、腹側部Aは、おむつ1Aの着用状態において股下部Bよりも着用者の腹側即ち前側に配される部位であり、背側部Cは、おむつ1Aの着用状態において股下部Bよりも着用者の背側即ち後側に配される部位である。

[0010] おむつ1Aは、吸収体23を具備する吸収性本体2と、該吸収性本体2よりも着用者の身体から遠い側に配された外装体3とを備え、腹側部A及び背側部Cそれぞれにおける外装体3の縦方向Xに沿う両側縁部AS、CSどうしが、接着剤、ヒートシール、超音波シール等の公知の接合手段によって互いに接合されて、図1に示すように、一対のサイドシール部S、S、並びに着用者の胴が通されるウエスト開口部WH、及び着用者の下肢が通される一対のレッグ開口部LH、LHが形成されている。

[0011] おむつ1Aは、図2に示すように、おむつ1Aを縦方向Xに二分して横方向Yに延びる縦中心線CLxを基準として、着用状態において着用者の身体の前側（腹側）を覆う前身頃Fと、着用状態において着用者の身体の後側（背側）を覆う後身頃Rとに区分される。腹側部Aは前身頃Fの一部であり、背側部Cは後身頃Rの一部であり、股下部Bは前身頃Fと後身頃Rとに跨っ

て存している。腹側部A及び背側部Cは、何れも縦方向Xにおいてサイドシール部Sと同位置にある部分であり、おむつ1Aの着用状態において着用者のウエスト部を含む胴回りに配される。股下部Bは、外装体3の縦方向Xに沿う両側縁部にレッグ開口部LH、LH形成用の凹欠部が形成されている領域である。股下部Bは、おむつ1Aの着用状態において着用者の排泄部（ペニス等）に対向配置される排泄部対向部を有しており、該排泄部対向部は通常、おむつ1Aの縦方向Xの中央部（縦中心線CLx上）又はその近傍に位置している。

[0012] 吸収性本体2は、図2に輪郭線で示したように平面視長方形形状をなし、腹側部Aから背側部Cにわたって縦方向Xに延在しており、その長手方向を展開且つ伸長状態におけるおむつ1Aの縦方向Xに一致させて、外装体3の横方向Yの中央部に配置され、接着剤により外装体3に接合されている。

[0013] 吸収性本体2は、図2に示すように、肌対向面を形成する液透過性の表面シート21、非肌対向面を形成する液不透過性若しくは液難透過性又は撥水性の裏面シート22、及び両シート21、22間に介在配置された液保持性の吸収体23を具備しており、これらが接着剤等の公知の接合手段により一体化されて構成されている。吸収体23は、平面視長方形形状をなし、吸収性本体2の外形を形作っており、図2に示す如き平面視において、吸収体23と吸収性本体2とは縦方向両端縁が一致している。表面シート21、裏面シート22及び吸収体23としては、それぞれ、この種の吸収性物品に従来用いられている各種のものを特に制限なく用いることができる。例えば、表面シート21としては各種の不織布や開孔フィルム等を用いることができ、裏面シート22としては樹脂フィルムや、樹脂フィルムと不織布等とのラミネート等を用いることができる。吸収体23としては、パルプ繊維等の繊維材料の集合体又は吸水性ポリマー粒子を含んで構成される吸収性コアを有するものを用いることができ、該吸収性コアはその外面が液透過性のコアラップシートで被覆されていても良い。

[0014] 本明細書において、「肌対向面」は、吸収性物品又はその構成部材（例え

ば吸収性本体)における、吸収性物品の着用時に着用者の肌側に向けられる面、即ち相対的に着用者の肌に近い側であり、「非肌対向面」は、吸収性物品又はその構成部材における、吸収性物品の着用時に肌側とは反対側(着衣側)に向けられる面、即ち相対的に着用者の肌から遠い側である。尚、ここでいう「着用時」は、通常の適正な着用位置、即ち当該吸収性物品の正しい着用位置が維持された状態を意味し、吸収性物品が該着用位置からずれた状態にある場合は含まない。

[0015] 図2に示すように、吸収性本体2の肌対向面における縦方向Xに沿う左右両側部には、液抵抗性又は撥水性で且つ通気性のシート材から構成された一对の防漏カフ24、24が設けられている。各防漏カフ24の自由端部の近傍には糸状の防漏カフ形成用弾性部材25が1本以上伸長状態で配されている。防漏カフ24は、伸長状態で配された弾性部材25がおむつ1Aの着用時に収縮することによって少なくとも股下部Bで起立し、それによって尿等の排泄液の横方向Yの外方への流出を阻止する。

[0016] 外装体3は、おむつ1Aの外形を形成する主体部であり、自ずと、腹側部A、股下部B及び背側部Cそれぞれの外形を形成する主体部でもある。即ち外装体3は、おむつ1Aの全構成部材のうちで面積が最大であり、図2に示す如き展開且つ伸長状態のおむつ1Aの外形を形作っており、外装体3の周縁は、その状態のおむつ1Aの輪郭線、即ち腹側部A、股下部B及び背側部Cそれぞれの輪郭線を形成している。おむつ1Aの「展開且つ伸長状態」とは、おむつ1Aをサイドシール部Sで切り離して展開状態とし、その展開状態のおむつ1Aを各部の弾性部材を伸長させて設計寸法(弾性部材の影響を一切排除した状態で平面状に広げたときの寸法と同じ)となるまで抃げた状態をいう。

[0017] 外装体3は、図2に示す如き展開且つ伸長状態の平面視において、腹側部A及び背側部Cにおいては、縦方向Xよりも横方向Yの長さが長い矩形形状をなし、腹側部Aと背側部Cとの間に位置する股下部Bにおいては、外装体3の縦方向Xに沿う両側縁部即ち一对のレッグ縁部LS、LSが横方向Yの

中央に向かって凸の円弧状に湾曲している。おむつ 1 A の外形を形成する主体部である外装体 3 が、展開且つ伸長状態において斯かる平面視形状を有していることにより、同状態のおむつ 1 A の平面視形状は、図 2 に示すように、縦方向 X の中央域が横方向 Y の内方に向けて括れた砂時計状である。

[0018] 外装体 3 は、図 3 に示すように、着用状態においておむつ 1 A の外面即ち非肌対向面を形成する外層シート 3 1 と、外層シート 3 1 の肌対向面 3 1 a に対向配置された内層シート 3 2 との積層体を含んで構成されている。つまり、斯かる積層体は、おむつ 1 A の外形を形成する主体部であり、腹側部 A、股下部 B 及び背側部 C それぞれの外形を形成する主体部でもある。

[0019] 外層シート 3 1 は、おむつ 1 A の全構成部材のうちで、着用者の肌から最も遠くに位置する構成部材である。内層シート 3 2 は、外層シート 3 1 よりも相対的に着用者の身体から近い側に位置し、着用状態においておむつ 1 A の内面即ち肌対向面を形成する。外層シート 3 1 と内層シート 3 2 との間は、所定の部位において接着剤 3 5 によって接合されている。外層シート 3 1 及び内層シート 3 2 としては、それぞれ、この種の吸収性物品において外装体として従来用いられている各種のものを特に制限なく用いることができ、例えば、スパンボンド不織布、エアスルー不織布、ニードルパンチ不織布等の各種製法による不織布が挙げられる。

[0020] 図 1 ～図 3 に示すように、一对のレッグ開口部 L H，L H それぞれの開口縁部を形成するレッグ縁部 L S には、糸状又は帯状の 1 本又は複数本のレッグギャザー形成用のレッグ弾性部材 3 3 が伸長状態で配されており、これによって一对のレッグ開口部 L H，L H それぞれの開口縁部には、その全周にわたって実質的に連続した環状のレッグギャザーが形成される。

[0021] また、腹側部 A 及び背側部 C それぞれにおける、ウエスト部を含む着用者の胴回りに配される部位には、糸状又は帯状の胴回り弾性部材 3 4 が横方向 Y に伸長状態で複数本配され、それら複数本の胴回り弾性部材 3 4 は縦方向 X に所定間隔を置いて間欠配置されている。胴回り弾性部材 3 4 は、外装体 3 の横方向 Y の略全長に亘って延びている。腹側部 A 及び背側部 C はそれぞれ

れ、図2に示すように、おむつ1Aの着用状態において着用者の腰回り及びその近傍に配されるウエスト域Dを有しており、そのウエスト域Dに胴回り弾性部材34が伸長状態で配されている。ウエスト域Dは、腹側部A及び背側部Cそれぞれにおいて、ウエスト端縁AE、CEから吸収体23（吸収性本体2）の縦方向Xの端縁にわたる、ウエスト端縁AE、CE寄りの胴回り領域（吸収性本体2の非配置領域）であり、通常、腹側部A又は背側部Cの縦方向Xの全長の8～80%を占める。ウエスト端縁AEは、外装体3の腹側部A側の縦方向Xの端縁、ウエスト端縁CEは、外装体3の背側部C側の縦方向Xの端縁であり、ウエスト開口部WHは両端縁AE、CEによって画成される。このように、ウエスト域Dに胴回り弾性部材34がその弾性伸縮性が発現される状態で配されていることにより、ウエスト開口部WHの開口縁部には、その全周にわたって実質的に連続した環状のウエストギャザーが形成される。

[0022] また、おむつ1Aにおいては、図2に示すように、腹側部A及び背側部Cそれぞれにおける、縦方向Xにおいて外装体3と吸収性本体2（吸収体23）とが重なる領域、即ち、ウエスト域Dよりも股下部B寄りの領域（ウエスト域D以外の領域）にも、糸状又は帯状の胴回り弾性部材34が横方向Yに伸長状態で複数本配され、それら複数本の胴回り弾性部材34は縦方向Xに所定間隔を置いて間欠配置されている。このウエスト域D以外の領域に配された胴回り弾性部材34は、吸収性本体2を横切っている。そして、外装体3における吸収性本体2の配置領域（平面視において吸収性本体2と重なる領域）においては、胴回り弾性部材34は分断されるなどして伸縮性が阻害されており、弾性伸縮性が発現される状態では配されていない。以上の各弾性部材33、34は、何れも外装体3を構成する外層シート31と内層シート32との間に接着剤等の接合手段により挟持固定されている。各弾性部材33、34としては、天然ゴム、ポリウレタン系樹脂、発泡ウレタン系樹脂、ホットメルト系伸縮部材等の伸縮性素材を糸状（糸ゴム）又は帯状（平ゴム）に形成したものが好ましく用いられる。

[0023] 図1～図4に示すように、腹側部A及び背側部Cにおいて、外層シート31は、内層シート32の縦方向端縁32Eから縦方向Xの外方に延出し且つ内層シート32の肌対向面32aに向けて折り返されている、折り返し部310を有している。即ち外層シート31は、内層シート32と同形状・同寸法の部分、即ちおむつ1Aの外形を形成する主体部を構成する部分に加えてさらに、両シート31, 32を積層した際に内層シート32の縦方向Xの両端縁32E, 32Eそれぞれから外方に延出する部分を有し、その延出部が折り返し部310である。尚、図4では、腹側部A側の折り返し部310を示すが、背側部C側の折り返し部310も腹側部A側と同様に構成されており、特に断らない限り、腹側部A側の折り返し部310の説明が適宜適用される。

[0024] 腹側部A及び背側部Cそれぞれのウエスト域Dに配された外層シート31の折り返し部310は、ウエスト域Dにおいて着用者の肌の最も近くに位置する「帯状の肌最近接シート」であり、腹側部A及び背側部Cの外形を形成する主体部である外装体3（外層シート31と内層シート32との積層体）の肌対向面、より具体的には、ウエスト域Dにおける内層シート32の肌対向面32aを横方向Yに延びるように配されている。折り返し部310の先端、即ち折り返し部310における縦方向Xの端縁310E（股下部B側に位置する端縁310E）は、図2に示すように、吸収性本体2（吸収体23）よりも縦方向Xの外方に位置しており、つまり、折り返し部310は吸収性本体2（吸収体23）と重なっていない。

[0025] また、おむつ1Aにおいては、図1～図3に示すように、吸収性本体2の縦方向Xの両端部の肌対向面が、外装体3とは別体の本体端部固定シート5によって被覆されている。本体端部固定シート5は、平面視において横方向Yに長い矩形形状をなし、腹側部A及び背側部Cそれぞれの、ウエスト域Dの一部及びウエスト域D以外の領域における該一部寄りの部位において、横方向Yの全長にわたって連続している。本体端部固定シート5も、折り返し部310と同様に、着用者の肌の最も近くに位置する「肌最近接シート」で

あり、腹側部A及び背側部Cの外形を形成する主体部の肌対向面、より具体的にはウエスト域Dにおける内層シート32の肌対向面32aを、吸収性本体2の縦方向Xの端部と重なりつつ、横方向Yに延びるように配されている。おむつ1Aにおいては、本体端部固定シート5の非肌対向面の略全域が、該非肌対向面と対向する面に対して、ホットメルト型接着剤等の接着剤35によって接合されており、従って、本体端部固定シート5の股下部B側に位置する縦方向Xの端縁を含む端部域は、本体端部固定シート5の非肌対向面と対向する面に固定されていて、該面から浮かないようになっている。

[0026] 本体端部固定シート5の採用により、吸収性本体2の縦方向端部からの尿等の排泄液の漏れ防止、吸収性本体2の縦方向端部の露出防止による外観良化等の効果が奏される。本体端部固定シート5の縦方向Xの長さ即ち幅は、特に制限されないが通常20～60mm程度である。本体端部固定シート5としては、外層シート31及び内層シート32として使用可能な各種不織布、該不織布の素材として使用可能な樹脂からなるフィルム状シートなどを用いることができる。

[0027] おむつ1Aの主たる特徴の1つとして、図4に示すように、腹側部Aの外層シート31の折り返し部310（肌最近接シート）の非肌対向面310bが、該非肌対向面310bと対向する面（即ち内層シート32の肌対向面32a）との接合部311及び非接合部312を有すると共に、折り返し部310の地色と異なる着色部40及び非着色部41を有し、その非接合部312が、折り返し部310における縦方向Xの端縁310E（肌最近接シートにおける股下部B側に位置する縦方向Xの端縁）を含む端部域に位置しており、且つ非着色部41を含んでいる点が挙げられる。

[0028] 図4に示す形態においては、接合部311の平面視における全域が着色部40、非接合部312の平面視における全域が非着色部41となっている。接合部311は、折り返し部310の非肌対向面310bと内層シート32の肌対向面32aとが接着剤35を介して互いに接合されて形成されている。背側部Cの外層シート31の折り返し部310（肌最近接シート）も、図

4 に示す腹側部 A と同様に構成されている。

[0029] このように、外層シート 31 の折り返し部 310 が、腹側部 A 及び背側部 C それぞれのウエスト域 D において着用者の肌の最も近くに位置し且つウエスト端縁 A E, C E に沿って横方向 Y に延びる帯状の肌最近接シートである構成においては、折り返し部 310 の肌対向面 310 a は、おむつ 1 A の着用時においては着用者の腹や背中と常時接触し、また例えば、おむつ 1 A の装着操作などにおいては手指で触れる機会が比較的多い部位であるところ、このような肌との接触の機会が比較的多い折り返し部 310 の股下部 B 側の端部域（端縁 310 E 及びその近傍）が、他の部材に接合されていない非接合部 312 とされ、非接合部 312 と相対向する内層シート 32 の肌対向面 32 a に対して接離自在な自由端部域となっていることで、非接合部 312 の感触が柔らかいものとなり、これによりウエスト域 D について肌で感じる風合いが良好なものとなる。

[0030] また、折り返し部 310 が、折り返し部 310 が本来有している地色と異なる色に着色された着色部 40 と、着色されておらず地色そのままの非着色部 41 とを、縦方向 X に並んで有していることで、折り返し部 310 の存在が周辺部に比して際立つため、折り返し部 310 を、おむつ 1 A を正しい着用位置で着用するための位置決めの目印として使用することができ、これにより着用時の位置決めを簡単に行うことができる。このような、折り返し部 310（肌最近接シート）による吸収性物品着用時の位置決め機能をより確実に奏させるようにする観点から、非着色部 41 は、折り返し部 310 の縦方向 X における端部域に沿って、折り返し部 310 の長手方向即ち横方向 Y の全長にわたって、即ち一方のサイドシール部 S から他方のサイドシール部 S にかけて連続して存在していることが好ましい。

[0031] また仮に、折り返し部 310 の非肌対向面 310 b における、端縁 310 E を含む端部域に位置する非接合部 312 が、印刷インクが付与されるなどして着色されていると、着用者の身体の動きなどに起因して非接合部 312 がめくれた場合に、その印刷インクが付与された非接合部 312 が着用者の

肌に触れて、印刷インクが肌に転移する不都合が発生することが懸念されるが、おむつ 1 A においては、非接合部 3 1 2 の全体が、印刷インクが付与されていない非着色部 4 1 であるため、斯かる懸念が払拭されている。

[0032] このような、ウエスト域 D における肌最近接シートである外層シート 3 1 の折り返し部 3 1 0 による作用効果、特にウエスト域 D の風合い向上と、着用時の位置決め操作の容易化を図る観点から、縦方向 X に沿って見たときに、ウエスト域 D における肌最近接シートである外層シート 3 1 の折り返し部 3 1 0 の非接合部 3 1 2 が、その端縁 3 1 0 E を含む折り返し部 3 1 0 の縦半分以上の領域に、非着色部 4 1 を含んでいることが好ましい。即ち、折り返し部 3 1 0 の股下部 B 側の端縁 3 1 0 E から折り返し部 3 1 0 の縦方向 X の全長の半分以上にわたる領域が、非接合部 3 1 2 であり且つ非着色部 4 1 を含んでいることが好ましい。

[0033] 折り返し部 3 1 0 (肌最近接シート) の縦方向 X の全長に占める、非接合部 3 1 2 の縦方向 X の長さの割合は、好ましくは 1 0 % 以上、さらに好ましくは 2 0 % 以上、そして、好ましくは 5 0 % 以下、さらに好ましくは 4 0 % 以下である。

折り返し部 3 1 0 (肌最近接シート) の縦方向 X の全長に占める、非着色部 4 1 の縦方向 X の長さの割合は、好ましくは 1 . 5 % 以上、さらに好ましくは 1 0 % 以上、そして、好ましくは 6 0 % 以下、さらに好ましくは 5 0 % 以下である。

非接合部 3 1 2 の縦方向 X の全長に占める、非着色部 4 1 の縦方向 X の長さの割合は、好ましくは 2 0 % 以上、さらに好ましくは 3 0 % 以上、そして、好ましくは 1 0 0 % 以下、さらに好ましくは 9 0 % 以下である。図 4 に示す形態においては、非接合部 3 1 2 の平面視における全域が非着色部 4 1 を有しているので、斯かる割合は 1 0 0 % である。非接合部 3 1 2 の縦方向 X の全長に占める、非着色部 4 1 の縦方向 X の長さの割合が 1 0 0 % 未満の場合、即ち、非接合部 3 1 2 に着色部 4 0 と非着色部 4 1 とが両方存在する場合、非着色部 4 1 は、折り返し部 3 1 0 (肌最近接シート) の縦方向 X の端

縁 3 1 0 E 側に配されていることが好ましい。

[0034] 腹側部 A の縦方向 X の全長に占める、折り返し部 3 1 0（肌最近接シート）の縦方向 X の全長の割合は、好ましくは 8 % 以上、さらに好ましくは 1 0 % 以上、そして、好ましくは 3 5 % 以下、さらに好ましくは 3 0 % 以下である。背側部 C の折り返し部 3 1 0 についても、腹側部 A と同様に設定することができる。

折り返し部 3 1 0（肌最近接シート）の非着色部 4 1 の縦方向 X の長さ即ち幅は、好ましくは 2 mm 以上、さらに好ましくは 5 mm 以上、そして、好ましくは 2 0 mm 以下、さらに好ましくは 1 5 mm 以下である。

[0035] おむつ 1 A においては、図 1 ～図 4 に示すように、外層シート 3 1 の肌対向面 3 1 a 及び内層シート 3 2 の非肌対向面 3 2 b は、それぞれ、地色と異なる着色部 4 0 を有している。より具体的には、外層シート 3 1 は、非接合部 3 1 2 以外の他の部分における、内層シート 3 2 との対向面の全域に着色部 4 0 を有し、また内層シート 3 2 は、その非肌対向面即ち外層シート 3 1 との対向面の全域に着色部 4 0 を有しており、両シート 3 1, 3 2 の何れも着色部 4 0 は露出してない。つまりおむつ 1 A においては、おむつ 1 A の外形を形成する主体部である、外層シート 3 1 と内層シート 3 2 との積層体の全体が、地色と異なる色に着色されており、またその着色された部分は、該積層体を構成する両シート 3 1, 3 2 の界面に存在し、外面に露出してない。外層シート 3 1 の肌対向面 3 1 a 及び内層シート 3 2 の非肌対向面 3 2 b それぞれの着色部 4 0 と、折り返し部 3 1 0 の着色部 4 0 とは同色である。尚、おむつ 1 A においては、本体端部固定シート 5 は着色されずに地色のままであるが、その非肌対向面の全域が、印刷インクが付与されるなどして着色されていても良い。

[0036] 斯かる構成を有するおむつ 1 A においては図 1 及び図 2 に示すように、おむつ 1 A の外形を形成する主体部である外装体 3 の全体が地色と異なる色を呈しており、しかも該主体部が、着色された複数枚（2 枚）のシート 3 1, 3 2 の積層体からなるため、おむつ 1 A を外部から視認したときにその施さ

れている着色の色が比較的濃く見え、意匠性が高い。また、おむつ 1 A の内面即ち肌対向面を目視した場合には、その濃い色を呈する主体部即ち外装体 3 の着色部 4 0 を背景にして、折り返し部 3 1 0 の端部域である地色のままの非着色部 4 1（非接合部 3 1 2）が、ウエスト域 D を横方向 Y に延びているため、着色部 4 0 とのコントラストにより目立つ。そのため非着色部 4 1 を、おむつ 1 A を正しい着用位置で着用するための位置決めの際の目印として使用することができる。また、おむつ 1 A の外面を形成する外層シート 3 1 の非肌対向面 3 1 b、並びに着用者の肌と接触し得るおむつ 1 A の内面を形成する折り返し部 3 1 0 の肌対向面 3 1 0 a 及び内層シート 3 2 の肌対向面 3 2 a は、何れも着色部 4 0 を有していないため、着色部 4 0 を構成する印刷インクが着用者の肌や衣類に移行してこれらを汚すという不都合、いわゆる色移りが効果的に防止される。

[0037] 外層シート 3 1 の折り返し部 3 1 0 における非着色部 4 1 は、外層シート 3 1 が本来有する地色を呈しているところ、その地色は特に制限されないが、通常は白色である。外層シート 3 1 のみならず、おむつ 1 A の他の構成部材についても、通常それらの地色は白色である。また、着色部 4 0 の色は、非着色部 4 1 が呈する地色と目視で区別し得る色であれば良く、任意の色を選択し得る。例えばおむつ 1 A の各構成部材の地色が白色の場合、着色部 4 0 の色としては、赤色、青色、黄色などを選択することができる。着色部 4 0 は、外層シート 3 1、内層シート 3 2 などのおむつ 1 A の構成部材に対し、公知の方法により印刷を施すことで形成することができる。

[0038] ところで、おむつ 1 A においては、縦方向 X に沿って見たときに、外層シート 3 1 の折り返し部 3 1 0 の端部域である非着色部 4 1 の長さ（縦方向 X の長さ）が、腹側部 A と背側部 C とで同じであるが、これに代えて、非着色部 4 1 の長さが腹側部 A と背側部 C とで相違していても良い。ここでいう「非着色部 4 1 の長さが腹側部 A と背側部 C とで相違」には、腹側部 A 及び背側部 C の双方が非着色部 4 1 を有する形態のみならず、腹側部 A 及び背側部 C の一方のみに非着色部 4 1 を有し、他方に非着色部を有さない形態も含ま

れる。斯かる構成により、腹側部Aと背側部Cとの区別が一層つけやすくなるため、おむつ1Aの前後を誤って着用する、といった不都合が効果的に防止される。非着色部41の縦方向Xの長さについては、背側部Cに比して腹側部Aを長くしても良く、その逆でも良い。

[0039] 以下、本発明の他の実施形態について図5～図8を参照して説明する。後述する他の実施形態については、前述したおむつ1Aと異なる構成部分を主として説明し、同様の構成部分は同一の符号を付して説明を省略する。特に説明しない構成部分は、おむつ1Aについての説明が適宜適用される。

[0040] 図5に示すおむつ1Bにおいては、内層シート32の縦方向端縁32Eが、外層シート31の折り返し部310の端縁310Eよりも股下部B寄りに位置しており、折り返し部310は、内層シート32と重ならず、相対向する外層シート31に接着剤35を介して接合されている。また、おむつ1Bにおいては、内層シート32が折り返し部310と重ならない代わりに、本体端部固定シート5が折り返し部310と重なっている。即ち図5に示すように、折り返し部310の縦方向Xの端縁310Eを含む端部域の非肌対向面310bと、本体端部固定シート5のウエスト端縁AE側に位置する縦方向Xの端縁を含む端部域の肌対向面とが相対向し、その相対向する部分において折り返し部310と本体端部固定シート5とが重なっている。そして、折り返し部310の端縁310Eを含む端部域の非肌対向面310bは、対向する本体端部固定シート5の縦方向Xの端縁を含む端部域と接合されておらず、その全体が非接合部312であり且つ非着色部41である。本体端部固定シート5は、その非肌対向面の略全域が、該非肌対向面と対向する面（図5においては、外層シート31の肌対向面31a及び内層シート32の肌対向面32a）に対して、接着剤35によって接合されている。尚、図5に示しているのはおむつ1Bの腹側部であるが、背側部も腹側部と同様に構成されている。おむつ1Bによってもおむつ1Aと同様の効果が奏される。但し、おむつ1Bにおいては、平面視において折り返し部310の非着色部41（非接合部312）と重なる着色シートが、外層シート31の1枚のみ

であるのに対し、おむつ 1 A における該着色シートは、外層シート 3 1 及び内層シート 3 2 の計 2 枚であり、これに起因して、非着色部 4 1 を目視した場合のその背景となる色は、おむつ 1 A の方がおむつ 1 B 寄りも濃く、そのためおむつ 1 A の方が、その濃い背景色とのコントラストにより、非着色部 4 1 の視認性により一層優れる。

[0041] 図 6 に示すおむつ 1 C においては、外層シート 3 1 の折り返し部 3 1 0 は、その非肌対向面 3 1 0 b の全域が、該非肌対向面 3 1 0 b と対向する面、即ち内層シート 3 2 の肌対向面 3 2 a に対して接着剤 3 5 によって接合され且つ折り返し部 3 1 0 の地色と異なる着色部 4 0 であり、非着色部 4 1 を有していない。その代わりに、おむつ 1 C においては、外層シート 3 1 の折り返し部 3 1 0 と同様に着用者の肌の最も近くに位置する「肌最近接シート」である本体端部固定シート 5 が、それと対向する面に対して部分的に接合され且つ非着色部を有しており、それによって、おむつ 1 A における折り返し部 3 1 0 と同様の作用効果を発現し得るようになされている。即ちおむつ 1 C においては、図 6 に示すように、本体端部固定シート 5 の非肌対向面 5 b が、該非肌対向面 5 b と対向する面（図 6 においては、内層シート 3 2 の肌対向面 3 2 a）との接合部 5 1 及び非接合部 5 2 を有すると共に、本体端部固定シート 5 の地色と異なる着色部 4 0 及び非着色部 4 1 を有し、その非接合部 5 2 が、本体端部固定シート 5 における縦方向 X の端縁 5 E を含む端部域に位置しており、且つ非着色部 4 1 を含んでいる。図 6 に示す形態においては、非接合部 5 2 の平面視における全域が非着色部 4 1 を有している。尚、図 6 に示しているのはおむつ 1 C の腹側部であるが、背側部も腹側部と同様に構成されている。おむつ 1 C によっても、おむつ 1 A と同様の効果が奏される。

[0042] 図 7 及び図 8 に示すおむつ 1 D は、いわゆる展開型の使い捨ておむつであり、おむつ 1 D の肌対向面即ち内面を形成する液透過性の表面シート 1 1、おむつ 1 C の非肌対向面即ち外面を形成する液不透過性ないし撥水性の裏面シート 1 2、及び両シート 1 1、1 2 間に配置された吸収体 1 3 を具備し、

腹側部A、股下部B及び背側部Cを縦方向Xに有し、且つ背側部Cの縦方向Xに沿う両側縁部に一对のファスニングテープ14、14を具備すると共に、腹側部Aの非肌対向面に、ファスニングテープ14止着用の被止着領域15を具備する。また、おむつ1Dの縦方向Xに沿う両側部それぞれには、一側縁部に弾性部材17が伸長状態で固定されているサイドシート16が配されており、これにより、着用時における股下部Bには一对の立体ギャザーが形成される。また、着用者の脚回りに配される左右のレッグ部には、弾性部材18が縦方向Xに沿って伸長状態で配されており、これにより、着用時におけるレッグ部には一对のレッグギャザーが形成される。

[0043] 裏面シート12は、図8に示すように、吸収体4から相対的に遠い外層シート120と、吸収体4から相対的に近い内層シート121との積層体からなる。外層シート120は、着用者の肌から最も遠くに位置し、おむつ1Dの外面を形成する。内層シート121は、吸収体4と横方向Yの長さが略同じであるのに対し、外層シート120は内層シート121よりも横方向Yの長さが長く、内層シート121の非肌対向面の全域を被覆し、さらに内層シート121の縦方向Xに沿う両側縁から横方向Yの外方に延出して、サイドシート16と共にサイドフラップ部を形成している。外層シート120としては、良好な風合いを得る観点から、各種不織布を用いることができ、内層シート121としては、防漏性の確保の観点から、樹脂フィルムや、樹脂フィルムと不織布等とのラミネート等を用いることができる。

[0044] 裏面シート12より具体的には外層シート120は、おむつ1Dの外形を形成する主体部であり、自ずと、腹側部A、股下部B及び背側部Cそれぞれの外形を形成する主体部でもある。即ち外層シート120は、おむつ1Dの全構成部材のうちで面積が最大であり、図7に示す如き展開且つ伸長状態のおむつ1Dの外形を形作っており、外層シート120の周縁は、その状態のおむつ1Dの輪郭線、即ち腹側部A、股下部B及び背側部Cそれぞれの輪郭線を形成している。

[0045] おむつ1Dにおいては、図7及び図8に示すように、裏面シート12の非

肌対向面を形成する外層シート 120 のみが着色部 40 を有し、裏面シート 12 よりも着用者の肌の近くに位置してこれを被覆している表面シート 11 やサイドシート 16 などの他の構成部材は着色されていない。また、外層シート 120 において、着色部 40 が存在するのは肌対向面 120a の全域であり、おむつ 1D の外面をなす外層シート 120 の非肌対向面 120b は着色されていない。つまりおむつ 1D においては、その外形を形成する主体部である外層シート 120 の全体が、その肌対向面 120a の全域に存する着色部 40 によって地色と異なる色を呈しており、且つその着色部 40 は、表面シート 11 やサイドシート 16 等の他の構成部材によって被覆されていて、露出していない。

[0046] また、おむつ 1D においては、図 7 に示すように、腹側部 A 及び背側部 C において、着用者の肌の最も近くに位置する帯状の肌最近接シート 19 が、腹側部 A 及び背側部 C それぞれの前記主体部（シート 11, 12, 16 の積層体）の肌対向面を横方向 Y に延びるように配されている。肌最近接シート 19 は、平面視において横方向 Y に長い矩形形状をなし、腹側部 A 及び背側部 C それぞれの横方向 Y の全長にわたって連続している。肌最近接シート 19 は、平面視において吸収体 13 の縦方向 X の端部と重なっている。肌最近接シート 19 の縦方向 X の長さ即ち幅は、好ましくは 20 mm 以上、さらに好ましくは 30 mm 以上、そして、好ましくは 150 mm 以下、さらに好ましくは 130 mm 以下である。

[0047] そして、腹側部 A 及び背側部 C それぞれにおける肌最近接シート 19 の非肌対向面は、該非肌対向面と対向する面（即ち表面シート 11 の肌対向面及びサイドシート 16 の肌対向面）との接合部 191 及び非接合部 192 を有すると共に、肌最近接シート 19 の地色と異なる着色部 40 及び非着色部 41 を有し、その非接合部 192 が、肌最近接シート 19 における股下部 B 側に位置する端縁 190E を含む端部域に位置しており、且つ非着色部 41 を含んでいる。おむつ 1D においては、非接合部 192 の平面視における全域が非着色部 41 を有している。肌最近接シート 19 の接合部 191 及び非接

合部 1 9 2 並びに着色部 4 0 及び非着色部 4 1 を含む構成については、前述した折り返し部 3 1 0 における構成と同様に設定でき、肌最近接シート 1 9 の接合部 1 9 1 及び非接合部 1 9 2 は、折り返し部 3 1 0 の接合部 3 1 1 及び非接合部 3 1 2 と同様に考えて良い。おむつ 1 D の内面即ち肌対向面を目視した場合には、地色とは異なる色を呈する主体部即ち外層シート 1 2 0 の着色部 4 0 を背景にして、肌最近接シート 1 9 の端部域である地色のままの非着色部 4 1 （非接合部 1 9 2 ）が、腹側部 A 及び背側部 C を横方向 Y に延びているため、着色部 4 0 とのコントラストにより目立つ存在となる。そのため非着色部 4 1 を、おむつ 1 D を正しい着用位置で着用するための位置決めの際の目印として使用することができる。おむつ 1 D によってもおむつ 1 A と同様の効果が奏される。

[0048] 以上、本発明の実施形態について説明したが、本発明は前記実施形態に制限されず、適宜変更可能である。例えばおむつ 1 A においては、着用者の肌の最も近くに位置する「肌最近接シート」として、外層シート 3 1 の折り返し部 3 1 0 と、本体端部固定シート 5 とが存在するところ、折り返し部 3 1 0 のみが、その非肌対向面 3 1 0 b に、該非肌対向面 3 1 0 b と対向する面との接合部 3 1 1 及び非接合部 3 1 2 を有すると共に、折り返し部 3 1 0 の地色と異なる着色部 4 0 及び非着色部 4 1 を有していたが、斯かる折り返し部 3 1 0 の構成と共に、本体端部固定シート 5 が、その非肌対向面に、該非肌対向面と対向する面との接合部及び非接合部を有すると共に、本体端部固定シート 5 の地色と異なる着色部及び非着色部を有していても良い。即ち、おむつ 1 A に、おむつ 1 C の本体端部固定シート 5 の構成が適用されても良く、その場合、本体端部固定シート 5 の接合部及び非接合部並びに着色部及び非着色部を含む構成については、前述した折り返し部 3 1 0 における構成と同様に設定できる。前述した本発明の実施形態に関し、更に以下の付記を開示する。

[0049] < 1 >

着用者の前後方向に対応する縦方向及びこれに直交する横方向を有すると

共に、股下部並びに該股下部の前後から縦方向に延出する腹側部及び背側部を有し、該腹側部から該背側部にわたる吸収体を具備する吸収性物品であって、

前記腹側部又は前記背側部において、着用者の肌の最も近くに位置する肌最近接シートが、該腹側部又は該背側部の外形を形成する主体部の肌対向面を横方向に延びるように配されており、

前記肌最近接シートの非肌対向面が、該非肌対向面と対向する面との接合部及び非接合部を有すると共に、該肌最近接シートの地色と異なる着色部及び非着色部を有し、

前記非接合部が、前記肌最近接シートにおける縦方向の端縁を含む端部域に位置しており、且つ前記非着色部を含んでいる吸収性物品。

[0050] < 2 >

縦方向に沿って見たときに、前記非接合部が、前記端縁を含む前記肌最近接シートの縦半分以上の領域に、前記非着色部を含んでいる前記< 1 >に記載の吸収性物品。

< 3 >

前記非着色部は、前記肌最近接シートにおける縦方向の端縁を含む端部域に沿って、前記肌最近接シートの横方向の全長にわたって連続して存在している前記< 1 >又は< 2 >に記載の吸収性物品。

< 4 >

縦方向に沿って見たときに、前記非着色部の長さが、前記腹側部と前記背側部とで相違している前記< 1 >～< 3 >の何れか 1 項に記載の吸収性物品。

< 5 >

前記主体部は、複数のシートの積層体を有し、該積層体において着用者の肌から最も遠くに位置する外層シートの肌対向面が、該外層シートの地色と異なる着色部を有している前記< 1 >～< 4 >の何れか 1 項に記載の吸収性物品。

< 6 >

前記肌最近接シートは、平面視において横方向に長い矩形形状をなし、前記腹側部又は前記背側部の横方向の全長にわたって連続し、且つ前記吸収体の縦方向の端部と重なる前記< 1 >～< 5 >の何れか 1 項に記載の吸収性物品。

[0051] < 7 >

前記吸収性物品は、前記吸収体を具備する吸収性本体と、該吸収性本体よりも着用者の身体から遠い側に配され、前記主体部を構成する外装体とを備え、前記腹側部及び前記背側部それぞれにおける該外装体の縦方向に沿う両側縁部どうしが接合されて一对のサイドシール部、ウエスト開口部及び一对のレッグ開口部が形成されているパンツ型吸収性物品であり、

前記外装体は、着用状態において前記吸収性物品の外面を形成する外層シートと、該外層シートの肌対向面に対向配置された内層シートとを含み、

前記外層シートの肌対向面又は前記内層シートの非肌対向面は、地色と異なる着色部を有しており、

前記腹側部又は前記背側部において、前記外層シートは、前記内層シートの縦方向端縁から縦方向外方に延出し且つ該内層シートの肌対向面に向けて折り返されている、折り返し部を有し、前記肌最近接シートが該折り返し部からなる前記< 1 >～< 4 >の何れか 1 項に記載の吸収性物品。

< 8 >

前記折り返し部における前記非着色部は、該折り返し部における縦方向の端縁を含む端部域に沿って、前記一对のサイドシール部の一方から他方にかけて存在している前記< 7 >に記載の吸収性物品。

< 9 >

前記外層シートの肌対向面及び前記内層シートの非肌対向面は、それぞれ、地色と異なる着色部を有している前記< 7 >又は< 8 >に記載の吸収性物品。

< 10 >

前記外層シートの肌対向面及び前記内層シートの非肌対向面それぞれの前記着色部と、前記折り返し部の前記着色部とは同色である前記< 9 >に記載の吸収性物品。

< 1 1 >

前記内層シートの縦方向の端縁が、前記外層シートの前記折り返し部の縦方向の端縁よりも前記股下部寄りに位置しており、該折り返し部は、該内層シートと重ならず、相対向する該外層シートに接着剤を介して接合されている前記< 7 >～< 9 >の何れか 1 項に記載の吸収性物品。

[0052] < 1 2 >

前記吸収性物品は、前記吸収体を具備する吸収性本体と、該吸収性本体よりも着用者の身体から遠い側に配され、前記主体部を構成する外装体とを備え、前記腹側部及び前記背側部それぞれにおける該外装体の縦方向に沿う両側縁部どうしが接合されて一对のサイドシール部、ウエスト開口部及び一对のレッグ開口部が形成されているパンツ型吸収性物品であり、

前記外装体は、着用状態において前記吸収性物品の外面を形成する外層シートと、該外層シートの肌対向面に対向配置された内層シートとを含み、

前記外層シートの肌対向面又は前記内層シートの非肌対向面は、地色と異なる着色部を有しており、

前記腹側部又は前記背側部において、前記外層シートは、前記内層シートの縦方向端縁から縦方向外方に延出し且つ該内層シートの肌対向面に向けて折り返されている、折り返し部を有し、

前記吸収性本体の縦方向の端部の肌対向面が、前記外装体とは別体の本体端部固定シートによって被覆されており、

前記肌最近接シートが、前記折り返し部及び前記本体端部固定シートの何れか一方又は両方からなる前記< 1 >～< 3 >の何れか 1 項に記載の吸収性物品。

[0053] < 1 3 >

前記非接合部が、前記肌最近接シートにおける前記股下部側に位置する端

縁を含む端部域に位置しており、且つ前記非着色部を含んでいる前記<1>~<12>の何れか1項に記載の吸収性物品。

<14>

前記着色部と前記非着色部とが縦方向に並んでいる前記<1>~<13>の何れか1項に記載の吸収性物品。

<15>

前記接合部の平面視における全域が前記着色部、前記非接合部の平面視における全域が非着色部である前記<1>~<14>の何れか1項に記載の吸収性物品。

[0054] <16>

前記肌最近接シートの縦方向の全長に占める、前記非接合部の縦方向の長さの割合は、好ましくは10%以上、さらに好ましくは20%以上、そして、好ましくは50%以下、さらに好ましくは40%以下である前記<1>~<15>の何れか1項に記載の吸収性物品。

<17>

前記肌最近接シートの縦方向の全長に占める、前記非着色部の縦方向の長さの割合は、好ましくは1.5%以上、さらに好ましくは10%以上、そして、好ましくは60%以下、さらに好ましくは50%以下である前記<1>~<16>の何れか1項に記載の吸収性物品。

<18>

前記非接合部の縦方向の全長に占める、前記非着色部の縦方向の長さの割合は、好ましくは20%以上、さらに好ましくは30%以上、そして、好ましくは100%以下、さらに好ましくは90%以下である前記<1>~<17>の何れか1項に記載の吸収性物品。

<19>

前記非接合部は前記着色部と前記非着色部とを有し、該非着色部が前記肌最近接シートの縦方向の端縁側に配されている前記<1>~<18>の何れか1項に記載の吸収性物品。

< 20 >

前記腹側部又は前記背側部の縦方向の全長に占める、前記肌最近接シートの縦方向の全長の割合は、好ましくは8%以上、さらに好ましくは10%以上、そして、好ましくは35%以下、さらに好ましくは30%以下である前記< 1 >～< 19 >の何れか1項に記載の吸収性物品。

< 21 >

前記肌最近接シートの前記非着色部の縦方向の長さは、好ましくは2 mm以上、さらに好ましくは5 mm以上、そして、好ましくは20 mm以下、さらに好ましくは15 mm以下である前記< 1 >～< 20 >の何れか1項に記載の吸収性物品。

< 22 >

前記着色部は印刷を施すことで形成されている前記< 1 >～< 21 >の何れか1項に記載の吸収性物品。

産業上の利用可能性

[0055] 本発明によれば、着色が施されていて意匠性が高く、肌対向面の風合いが良好で、着用時の位置決めが簡単な吸収性物品が提供される。

請求の範囲

- [請求項1] 着用者の前後方向に対応する縦方向及びこれに直交する横方向を有すると共に、股下部並びに該股下部の前後から縦方向に延出する腹側部及び背側部を有し、該腹側部から該背側部にわたる吸収体を具備する吸収性物品であって、
- 前記腹側部又は前記背側部において、着用者の肌の最も近くに位置する肌最近接シートが、該腹側部又は該背側部の外形を形成する主体部の肌対向面を横方向に延びるように配されており、
- 前記肌最近接シートの非肌対向面が、該非肌対向面と対向する面との接合部及び非接合部を有すると共に、該肌最近接シートの地色と異なる着色部及び非着色部を有し、
- 前記非接合部が、前記肌最近接シートにおける縦方向の端縁を含む端部域に位置しており、且つ前記非着色部を含んでいる吸収性物品。
- [請求項2] 縦方向に沿って見たときに、前記非接合部が、前記端縁を含む前記肌最近接シートの縦半分以上の領域に、前記非着色部を含んでいる請求項1に記載の吸収性物品。
- [請求項3] 前記非着色部は、前記肌最近接シートにおける縦方向の端縁を含む端部域に沿って、前記肌最近接シートの横方向の全長にわたって連続して存在している請求項1又は2に記載の吸収性物品。
- [請求項4] 縦方向に沿って見たときに、前記非着色部の長さが、前記腹側部と前記背側部とで相違している請求項1～3の何れか1項に記載の吸収性物品。
- [請求項5] 前記主体部は、複数のシートの積層体を有し、該積層体において着用者の肌から最も遠くに位置する外層シートの肌対向面が、該外層シートの地色と異なる着色部を有している請求項1～4の何れか1項に記載の吸収性物品。
- [請求項6] 前記肌最近接シートは、平面視において横方向に長い矩形形状をなし、前記腹側部又は前記背側部の横方向の全長にわたって連続し、且

つ前記吸収体の縦方向の端部と重なる請求項 1 ～ 5 の何れか 1 項に記載の吸収性物品。

[請求項7] 前記吸収性物品は、前記吸収体を具備する吸収性本体と、該吸収性本体よりも着用者の身体から遠い側に配され、前記主体部を構成する外装体とを備え、前記腹側部及び前記背側部それぞれにおける該外装体の縦方向に沿う両側縁部どうしが接合されて一对のサイドシール部、ウエスト開口部及び一对のレッグ開口部が形成されているパンツ型吸収性物品であり、

前記外装体は、着用状態において前記吸収性物品の外面を形成する外層シートと、該外層シートの肌対向面に対向配置された内層シートとを含み、

前記外層シートの肌対向面又は前記内層シートの非肌対向面は、地色と異なる着色部を有しており、

前記腹側部又は前記背側部において、前記外層シートは、前記内層シートの縦方向端縁から縦方向外方に延出し且つ該内層シートの肌対向面に向けて折り返されている、折り返し部を有し、前記肌最近接シートが該折り返し部からなる請求項 1 ～ 4 の何れか 1 項に記載の吸収性物品。

[請求項8] 前記折り返し部における前記非着色部は、該折り返し部における縦方向の端縁を含む端部域に沿って、前記一对のサイドシール部の一方から他方にかけて存在している請求項 7 に記載の吸収性物品。

[請求項9] 前記外層シートの肌対向面及び前記内層シートの非肌対向面は、それぞれ、地色と異なる着色部を有している請求項 7 又は 8 に記載の吸収性物品。

[請求項10] 前記外層シートの肌対向面及び前記内層シートの非肌対向面それぞれの前記着色部と、前記折り返し部の前記着色部とは同色である請求項 9 に記載の吸収性物品。

[請求項11] 前記内層シートの縦方向の端縁が、前記外層シートの前記折り返し

部の縦方向の端縁よりも前記股下部寄りに位置しており、該折り返し部は、該内層シートと重ならず、相対向する該外層シートに接着剤を介して接合されている請求項 7 ～ 9 の何れか 1 項に記載の吸収性物品。

[請求項12]

前記吸収性物品は、前記吸収体を具備する吸収性本体と、該吸収性本体よりも着用者の身体から遠い側に配され、前記主体部を構成する外装体とを備え、前記腹側部及び前記背側部それぞれにおける該外装体の縦方向に沿う両側縁部どうしが接合されて一对のサイドシール部、ウエスト開口部及び一对のレッグ開口部が形成されているパンツ型吸収性物品であり、

前記外装体は、着用状態において前記吸収性物品の外面を形成する外層シートと、該外層シートの肌対向面に対向配置された内層シートとを含み、

前記外層シートの肌対向面又は前記内層シートの非肌対向面は、地色と異なる着色部を有しており、

前記腹側部又は前記背側部において、前記外層シートは、前記内層シートの縦方向端縁から縦方向外方に延出し且つ該内層シートの肌対向面に向けて折り返されている、折り返し部を有し、

前記吸収性本体の縦方向の端部の肌対向面が、前記外装体とは別体の本体端部固定シートによって被覆されており、

前記肌最近接シートが、前記折り返し部及び前記本体端部固定シートの何れか一方又は両方からなる請求項 1 ～ 3 の何れか 1 項に記載の吸収性物品。

[請求項13]

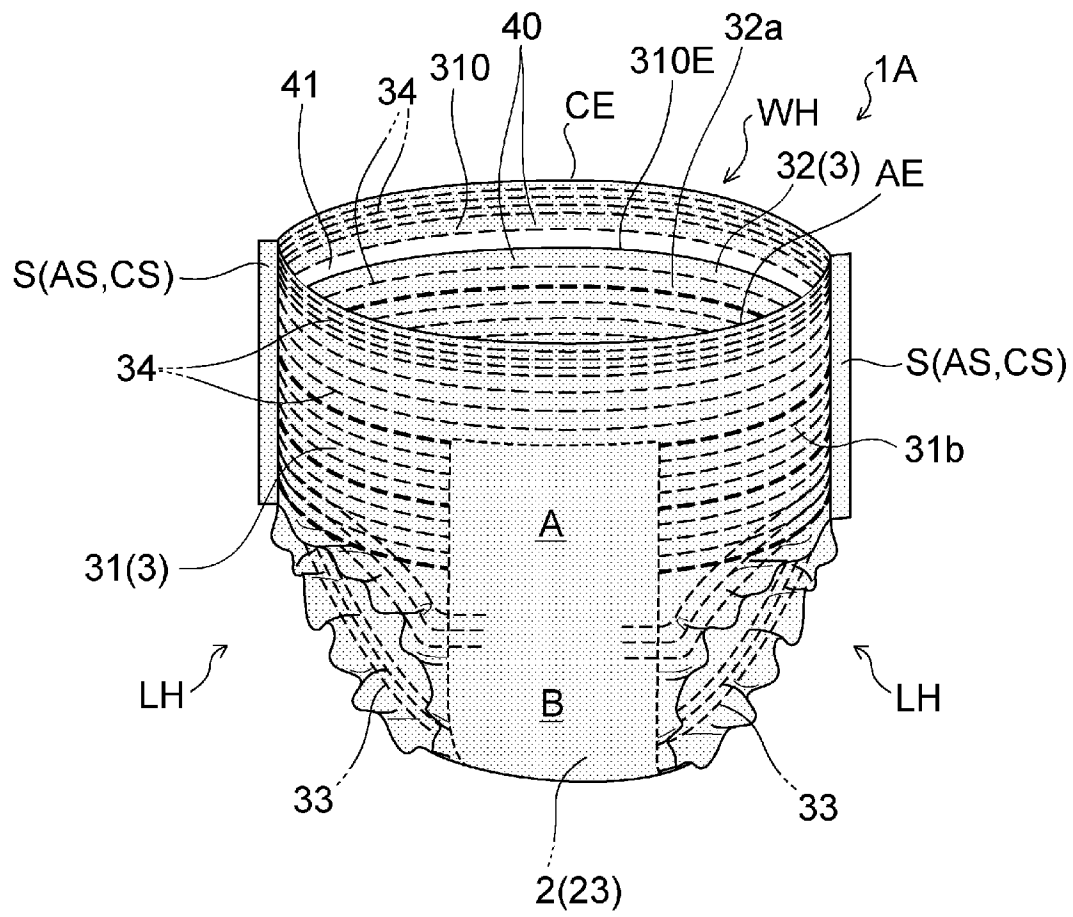
前記非接合部が、前記肌最近接シートにおける前記股下部側に位置する端縁を含む端部域に位置しており、且つ前記非着色部を含んでいる請求項 1 ～ 12 の何れか 1 項に記載の吸収性物品。

[請求項14]

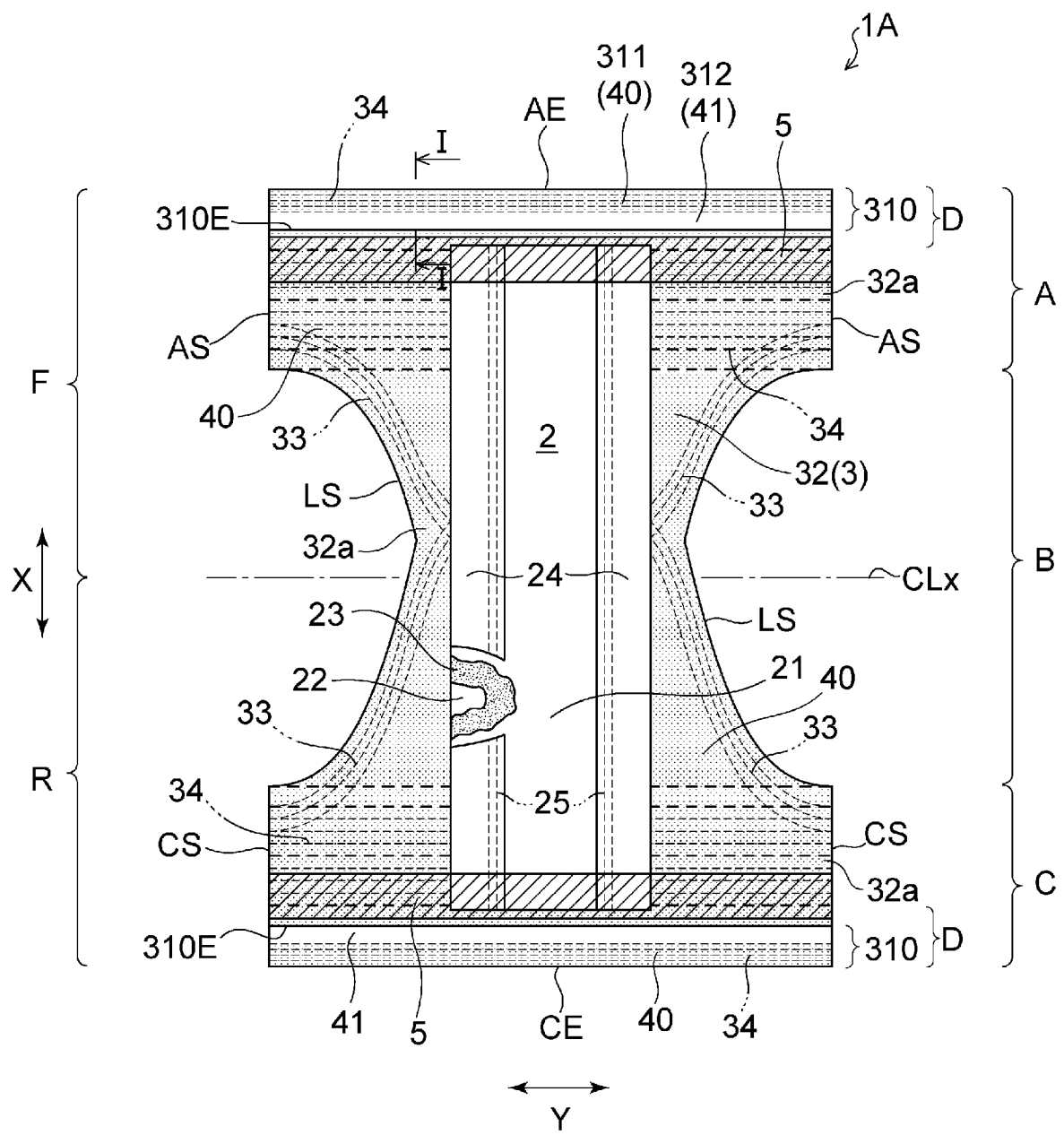
前記着色部と前記非着色部とが縦方向に並んでいる請求項 1 ～ 13 の何れか 1 項に記載の吸収性物品。

- [請求項15] 前記接合部の平面視における全域が前記着色部、前記非接合部の平面視における全域が非着色部である請求項1～14の何れか1項に記載の吸収性物品。
- [請求項16] 前記肌最近接シートの縦方向の全長に占める、前記非接合部の縦方向の長さの割合が、10%以上50%以下である請求項1～15の何れか1項に記載の吸収性物品。
- [請求項17] 前記肌最近接シートの縦方向の全長に占める、前記非着色部の縦方向の長さの割合が、1.5%以上60%以下である請求項1～16の何れか1項に記載の吸収性物品。
- [請求項18] 前記非接合部の縦方向の全長に占める、前記非着色部の縦方向の長さの割合が、20%以上100%以下である請求項1～17の何れか1項に記載の吸収性物品。
- [請求項19] 前記非接合部は前記着色部と前記非着色部とを有し、該非着色部が前記肌最近接シートの縦方向の端縁側に配されている請求項1～18の何れか1項に記載の吸収性物品。
- [請求項20] 前記腹側部又は前記背側部の縦方向の全長に占める、前記肌最近接シートの縦方向の全長の割合が、8%以上35%以下である請求項1～19の何れか1項に記載の吸収性物品。
- [請求項21] 前記肌最近接シートの前記非着色部の縦方向の長さが、2mm以上20mm以下である請求項1～20の何れか1項に記載の吸収性物品。
- [請求項22] 前記着色部は印刷を施すことで形成されている請求項1～21の何れか1項に記載の吸収性物品。

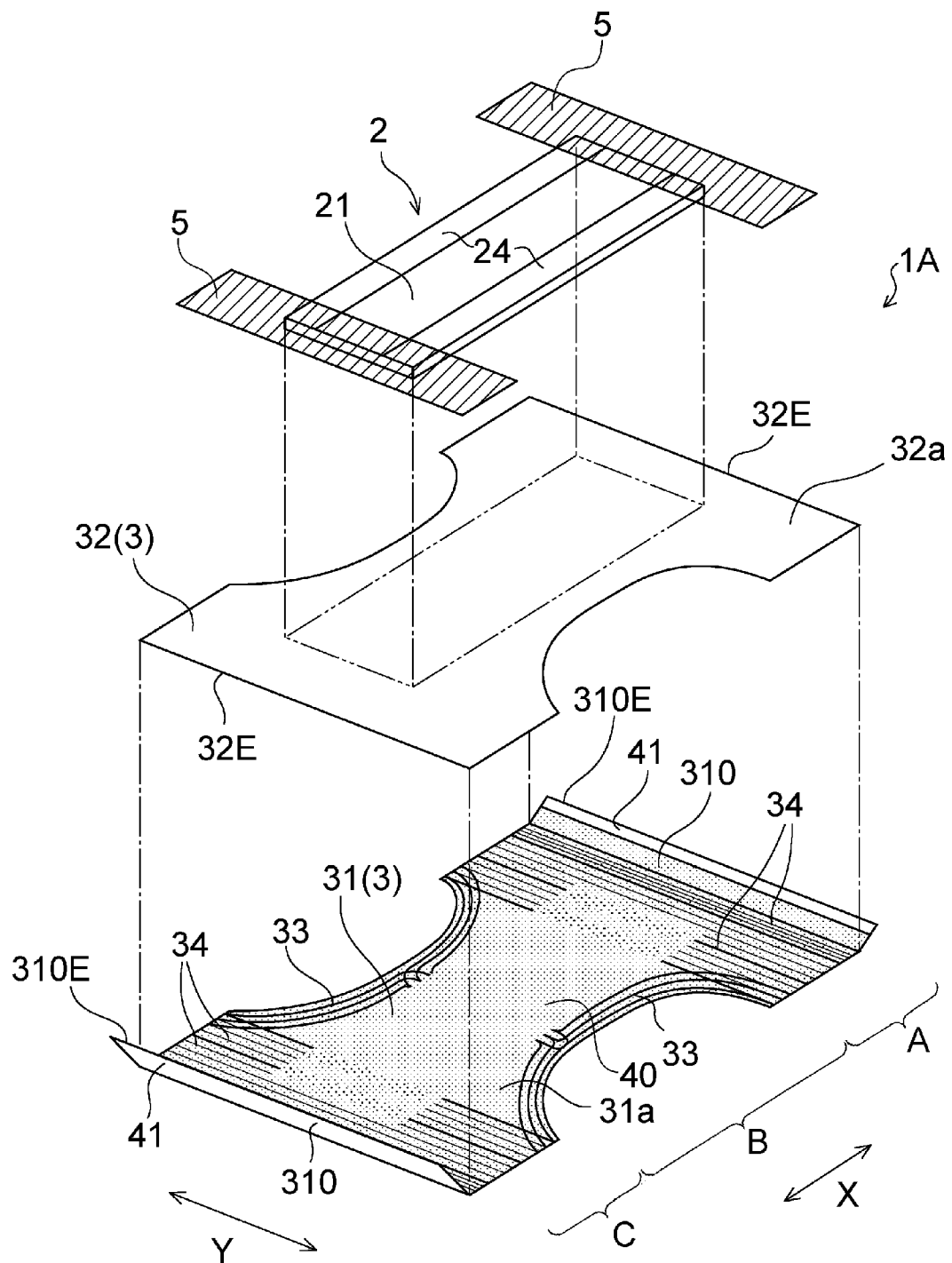
[図1]



[図2]



[図3]



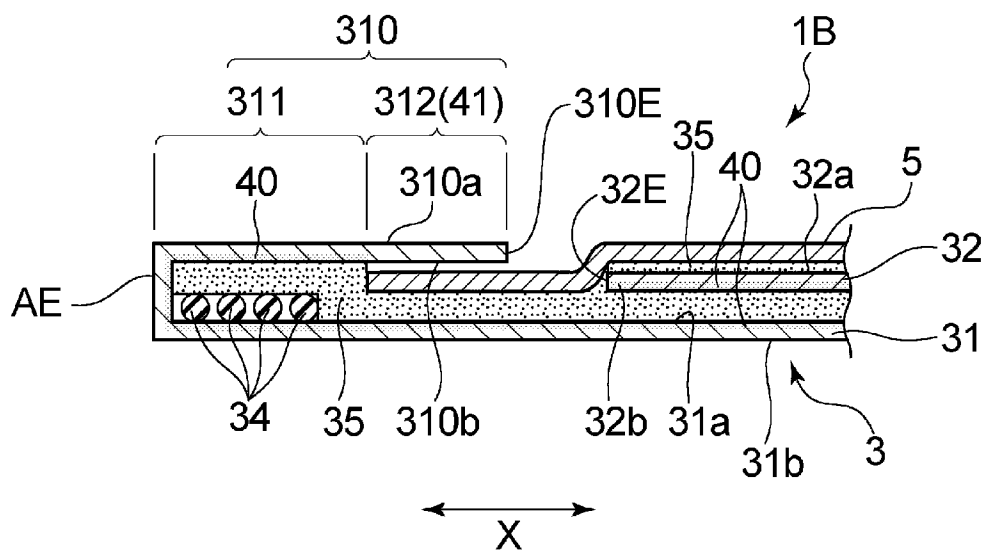
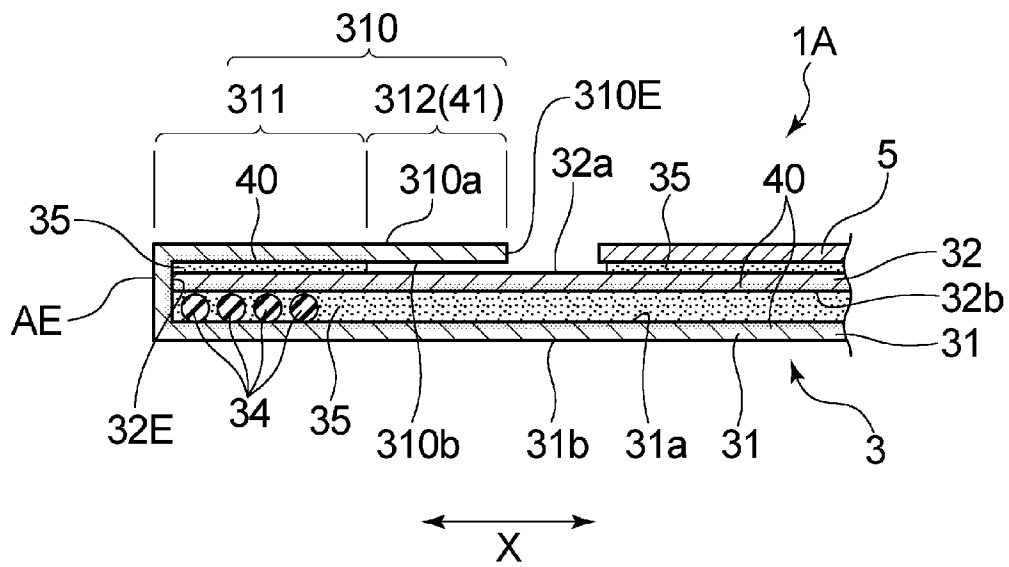
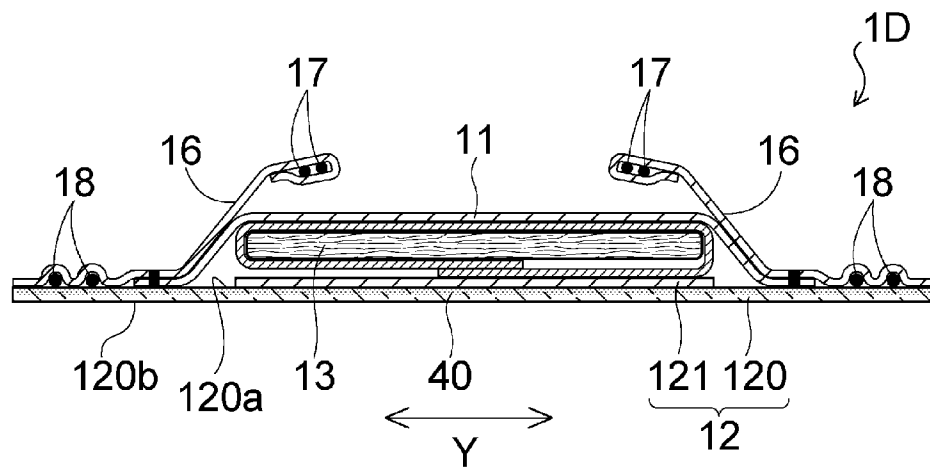


Fig. 1 is a cross-sectional view of a semiconductor device taken along the X-Y plane. The device has a central channel 11. On either side of the channel are two vertical regions 16. The top and bottom of the device are defined by horizontal regions 19. Within these horizontal regions, there are layers 18 and substrates 17. The top and bottom regions are also labeled 190E. The side regions are labeled 191(40) and 192(41). The entire structure is enclosed in a frame 14. Dimensions X and Y are indicated.

[図8]



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2017/020586

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

A61F13/511(2006.01)i, A61F13/49(2006.01)i

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

A61F13/15-13/84

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1922-1996	Jitsuyo Shinan Toroku Koho	1996-2017
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971-2017	Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2017

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	JP 2016-010519 A (Uni-Charm Corp.), 21 January 2016 (21.01.2016), & WO 2015/198664 A1	1-22
A	JP 2005-237768 A (Daio Paper Corp.), 08 September 2005 (08.09.2005), (Family: none)	1-22
A	JP 2016-036396 A (Uni-Charm Corp.), 22 March 2016 (22.03.2016), & WO 2016/021217 A1 & CN 106572934 A	1-22
A	JP 2008-188182 A (Uni-Charm Corp.), 21 August 2008 (21.08.2008), & US 2010/0168703 A1 & WO 2008/096504 A1 & EP 2110109 A1	1-22

☒ Further documents are listed in the continuation of Box C.

☐ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance
 "E" earlier application or patent but published on or after the international filing date
 "L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)
 "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means
 "P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention
 "X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone
 "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art
 "&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search
02 August 2017 (02.08.17)

Date of mailing of the international search report
15 August 2017 (15.08.17)

Name and mailing address of the ISA/
Japan Patent Office
3-4-3, Kasumigaseki, Chiyoda-ku,
Tokyo 100-8915, Japan

Authorized officer

Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2017/020586

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	JP 2009-034524 A (The Procter & Gamble Co.), 19 February 2009 (19.02.2009), & US 2003/0158532 A1 & WO 2003/070136 A2	1-22
A	JP 2015-192747 A (Daio Paper Corp.), 05 November 2015 (05.11.2015), (Family: none)	1-22

A. 発明の属する分野の分類（国際特許分類（IPC））

Int.Cl. A61F13/511(2006.01)i, A61F13/49(2006.01)i

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料（国際特許分類（IPC））

Int.Cl. A61F13/15-13/84

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1922-1996年
日本国公開実用新案公報	1971-2017年
日本国実用新案登録公報	1996-2017年
日本国登録実用新案公報	1994-2017年

国際調査で使用した電子データベース（データベースの名称、調査に使用した用語）

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
A	JP 2016-010519 A（ユニ・チャーム株式会社）2016.01.21, & WO 2015/198664 A1	1-22
A	JP 2005-237768 A（大王製紙株式会社）2005.09.08, （ファミリーなし）	1-22
A	JP 2016-036396 A（ユニ・チャーム株式会社）2016.03.22, & WO 2016/021217 A1 & CN 106572934 A	1-22

☒ C欄の続きにも文献が列挙されている。

☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの	「T」 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの
「E」 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの	「X」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
「L」 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献（理由を付す）	「Y」 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
「O」 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献	「&」 同一パテントファミリー文献
「P」 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願	

国際調査を完了した日

02.08.2017

国際調査報告の発送日

15.08.2017

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁（ISA/J P）

郵便番号100-8915

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官（権限のある職員）

西村 賢

3 B

4088

電話番号 03-3581-1101 内線 3320

C (続き) . 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
A	JP 2008-188182 A (ユニ・チャーム株式会社) 2008.08.21, & US 2010/0168703 A1 & WO 2008/096504 A1 & EP 2110109 A1	1-22
A	JP 2009-034524 A (ザ プロクター アンド ギャンブル カンパ ニー) 2009.02.19, & US 2003/0158532 A1 & WO 2003/070136 A2	1-22
A	JP 2015-192747 A (大王製紙株式会社) 2015.11.05, (ファミリーなし)	1-22